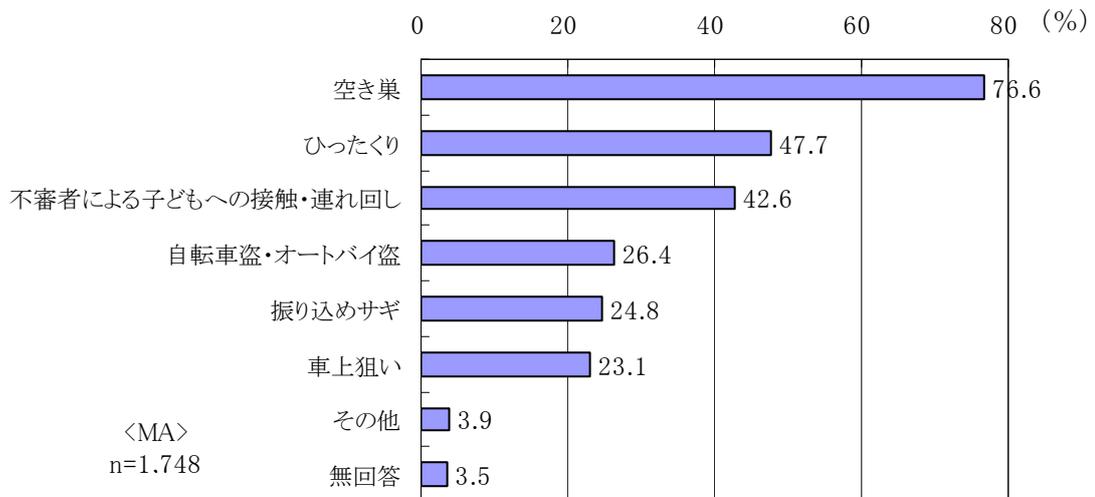


VI 防犯・防災

- ◇最も不安に感じているのは「空き巣」で7割以上。
- ◇災害に備えて準備しているのは、「懐中電灯」「食糧や飲料水」「ラジオ」(50%以上)。
- ◇地震対策では、「家具の転倒防止」4割強、「特に何もしていない」4割強。
- ◇住宅用火災警報器の設置義務化の認知度は約8割。
- ◇住宅用火災警報器設置は5割以上。

問 25 あなたが、日常、不安に感じている犯罪は何ですか。(複数回答)

- ・割合が高い順に、「空き巣」(76.6%)、「ひったくり」(47.7%)、「不審者による子どもへの接触・連れ回し」(42.6%)となっている。



- ・男女別にみると、男女ともに「空き巣」が最も多く、次いで男性では「不審者による子どもへの接触・連れ回し」が、女性では「ひったくり」の割合が高い。

	空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上狙い	振り込めサギ	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他
男性(n=719)	78.9	34.5	31.7	27.7	22.1	38.7	3.6
女性(n=983)	75.9	57.2	22.6	19.7	26.9	46.0	4.2
無回答(n=46)	56.5	52.2	26.1	21.7	21.7	32.6	4.3

(%)

- ・年齢別にみると、各年齢ともに「空き巣」が最も多く、次いで、20歳代、30歳代、40歳代では「不審者による子どもへの接触・連れ回し」が、50歳代以上では「ひったくり」の割合が高い。

(%)

	空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上狙い	振り込めサギ	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他
20歳代(n=140)	61.4	41.4	37.1	22.1	15.0	43.6	8.6
30歳代(n=266)	72.2	42.1	28.6	35.3	15.4	59.8	7.9
40歳代(n=289)	74.4	41.2	29.4	27.0	16.6	65.7	4.8
50歳代(n=306)	80.4	47.4	28.4	22.9	25.8	38.9	2.3
60歳代(n=380)	81.8	51.3	23.7	23.2	30.8	30.3	1.8
70歳代(n=218)	83.9	55.0	20.2	12.8	35.8	34.9	3.2
80歳以上(n=105)	77.1	58.1	15.2	4.8	37.1	9.5	0.0
無回答(n=44)	56.8	54.5	27.3	20.5	22.7	34.1	2.3

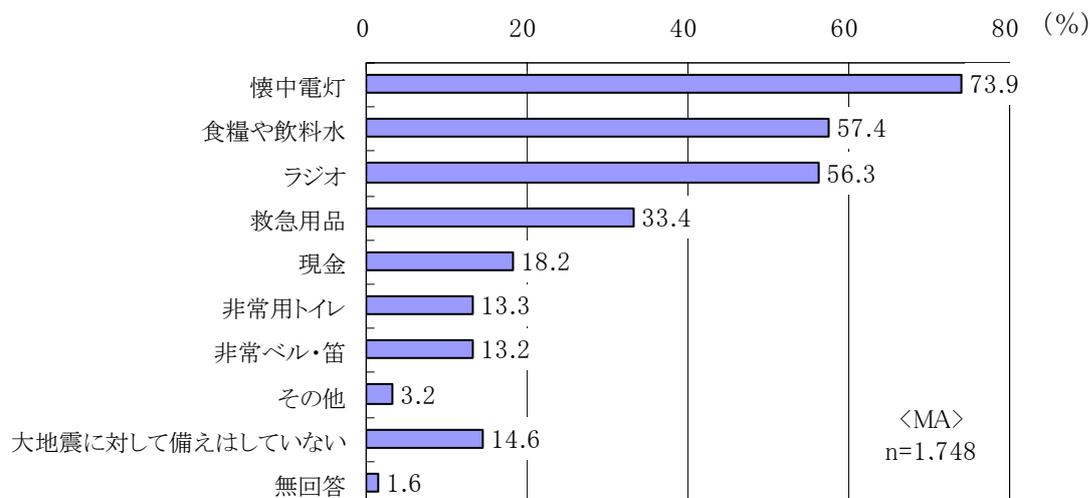
- ・地域別にみると、いずれの地区も「空き巣」が最も多い。次いで、富岡第一・第二・第三地区、金沢シーサイドタウン、金沢中部地区、金沢南部地区、六浦西地区、釜利谷地区では「ひったくり」が、能見台地区、金沢東部地区、六浦東地区、六浦地区では「不審者による子どもへの接触・連れ回し」が多く、富岡西・能見台地区、金沢地区では、「ひったくり」と「不審者による子どもへの接触・連れ回し」が同率となっている。
- ・金沢シーサイドタウンでは、「自転車盗・オートバイ盗」(46.9%)が他地区に比べて高い。

(%)

	空き巣	ひったくり	自転車盗・オートバイ盗	車上狙い	振り込めサギ	不審者による子どもへの接触・連れ回し	その他
富岡第一・第二・第三地区(n=252)	84.5	52.4	20.2	22.6	23.8	39.3	5.2
富岡西・能見台地区(n=65)	75.4	40.0	13.8	20.0	18.5	40.0	9.2
能見台地区(n=142)	76.1	48.6	19.7	30.3	14.8	52.1	0.7
金沢シーサイドタウン(n=177)	78.5	52.0	46.9	28.8	27.1	33.9	4.5
金沢東部地区(n=111)	80.2	44.1	24.3	23.4	28.8	45.9	1.8
金沢中部地区(n=54)	83.3	57.4	25.9	16.7	22.2	50.0	5.6
金沢南部地区(n=127)	73.2	48.8	26.0	19.7	20.5	36.2	6.3
金沢地区(n=127)	75.6	45.7	27.6	17.3	27.6	45.7	5.5
六浦東地区(n=43)	62.8	34.9	25.6	30.2	27.9	51.2	2.3
六浦地区(n=159)	71.7	49.1	30.2	18.2	32.7	50.3	3.8
六浦西地区(n=185)	73.5	41.6	28.6	17.3	25.9	37.3	3.2
釜利谷地区(n=229)	80.3	48.5	23.6	26.6	25.8	44.1	3.1
無回答(n=77)	59.7	44.2	20.8	28.6	20.8	41.6	1.3

問 26 あなたは、大地震などの災害に備えて、どのような準備をしていますか。(複数回答)

・割合が高い順に、「懐中電灯」(73.9%)、「食糧や飲料水」(57.4%)、「ラジオ」(56.3%)、「救急用品」(33.4%)などとなっている。

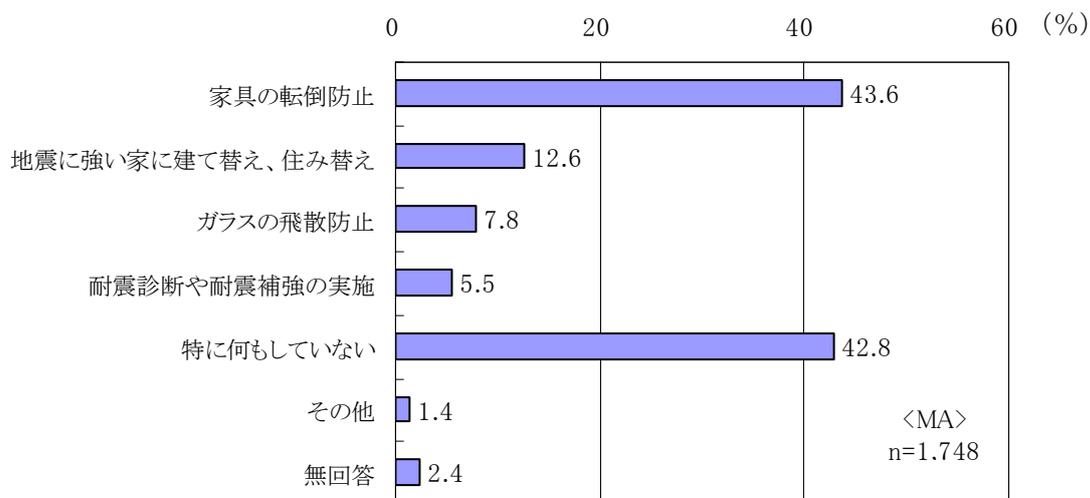


・年齢別にみると、若年層(20歳代と30歳代)ほど備えなしが多く、40歳代から70歳代はその他の年代に比べて多くの点で備えがなされている。また、80歳以上は「非常ベル・笛」「現金」の備えは他の年代よりも高いが、「食糧や飲料水」は20歳代と30歳代と同様に低い。

	食糧や飲料水	非常用トイレ	懐中電灯	ラジオ	非常ベル・笛	現金	救急用品	その他	大地震に対して備えはしていない
20歳代(n=140)	48.6	7.1	50.0	26.4	3.6	11.4	22.1	2.1	33.6
30歳代(n=266)	49.6	9.8	63.2	39.8	8.3	11.3	30.8	2.6	19.9
40歳代(n=289)	64.7	15.2	72.0	52.2	12.1	11.1	31.1	3.8	13.5
50歳代(n=306)	54.2	17.0	76.1	59.5	9.5	14.1	30.4	4.2	12.1
60歳代(n=380)	59.7	13.7	84.2	67.1	16.8	18.2	38.2	2.9	10.5
70歳代(n=218)	67.9	14.7	84.4	76.1	22.0	37.6	43.6	2.8	8.7
80歳以上(n=105)	47.6	8.6	74.3	60.0	19.0	35.2	31.4	1.9	13.3
無回答(n=44)	59.1	18.2	70.5	54.5	15.9	22.7	31.8	6.8	13.6

問27 あなたは、大地震に対してご自宅でのどのような対策をしていますか。(複数回答)

・「家具の転倒防止」が約4割、一方で「特に何もしていない」も約4割にのぼっている。



・年齢別にみると、70歳代と80歳以上は「耐震診断や耐震補強の実施」をしている割合が他の年代よりも高い。

(%)

	家具の転倒防止	ガラスの飛散防止	地震に強い家に建て替え、住み替え	耐震診断や耐震補強の実施	特に何もしていない	その他
20歳代 (n=140)	39.3	5.0	8.6	5.0	50.7	1.4
30歳代 (n=266)	43.2	4.1	11.3	3.8	46.2	1.9
40歳代 (n=289)	47.1	8.3	12.5	4.5	40.5	1.4
50歳代 (n=306)	41.5	7.8	12.4	5.6	45.8	2.3
60歳代 (n=380)	44.7	9.2	14.5	4.7	40.8	0.8
70歳代 (n=218)	49.1	13.8	13.8	8.3	35.3	0.9
80歳以上 (n=105)	37.1	4.8	14.3	10.5	45.7	0.0
無回答 (n=44)	29.5	2.3	9.1	4.5	40.9	2.3

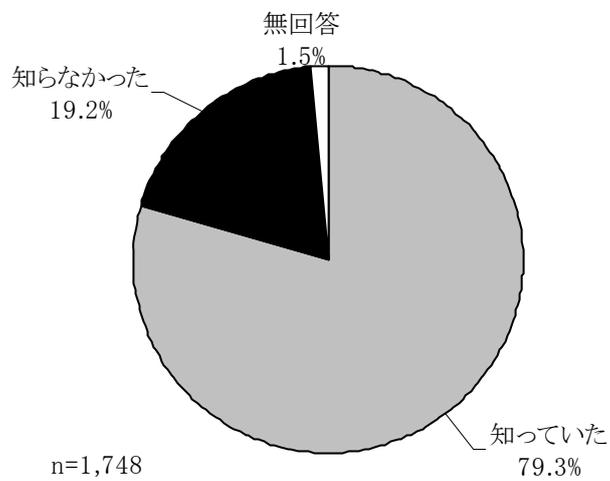
・世帯構成別にみると、「特に何もしていない」のはひとり暮らし世帯が最も多く(57.3%)、他の項目でも「ひとり暮らし」世帯は取組率が低い傾向がある。

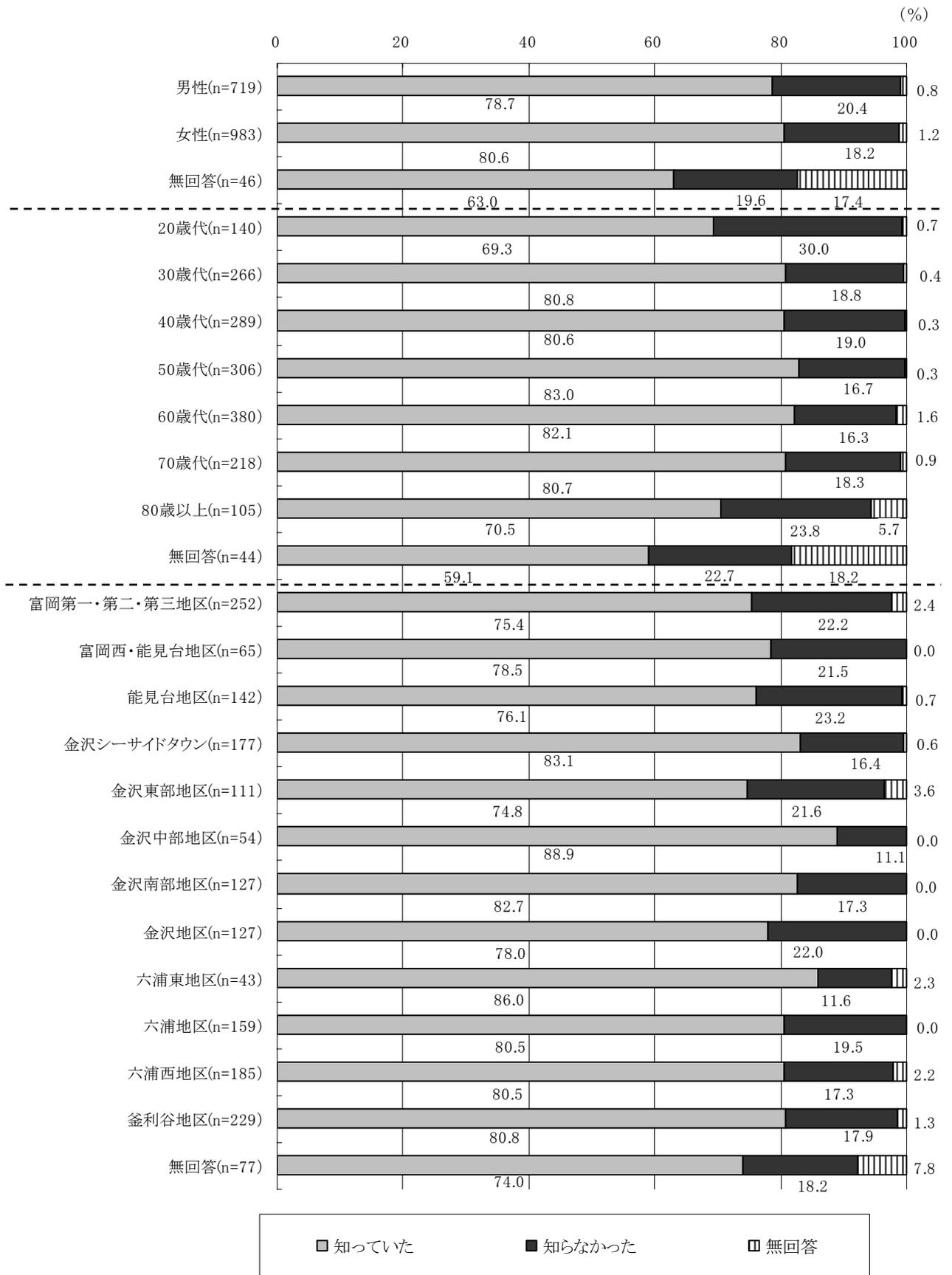
(%)

	家具の転倒防止	ガラスの飛散防止	地震に強い家に建て替え、住み替え	耐震診断や耐震補強の実施	特に何もしていない	その他
ひとり暮らし (n=131)	29.0	9.9	3.8	3.1	57.3	0.0
夫婦だけ (n=413)	46.7	10.2	11.9	5.1	42.1	1.0
親と子 (二世帯) (n=996)	45.3	6.3	11.7	5.4	42.0	1.7
親と子と孫 (三世帯) (n=140)	42.1	11.4	29.3	10.0	36.4	1.4
その他 (n=20)	40.0	10.0	20.0	5.0	45.0	0.0
無回答 (n=48)	27.1	2.1	8.3	4.2	45.8	2.1

問 28 すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が、義務化されたことはご存知でしたか。

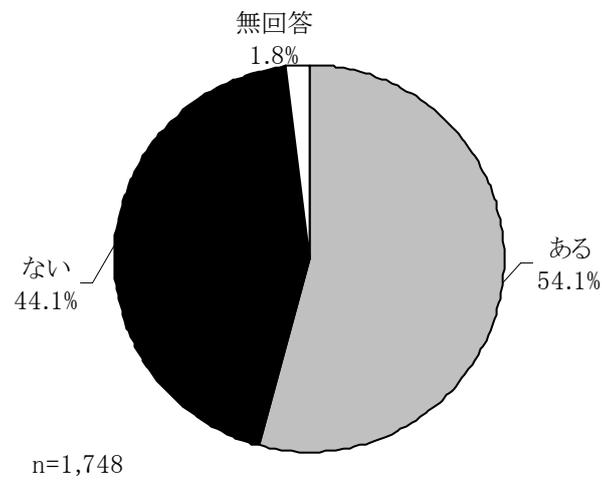
・「知っていた」が 79.3%、一方で「知らなかった」は 19.2%である。



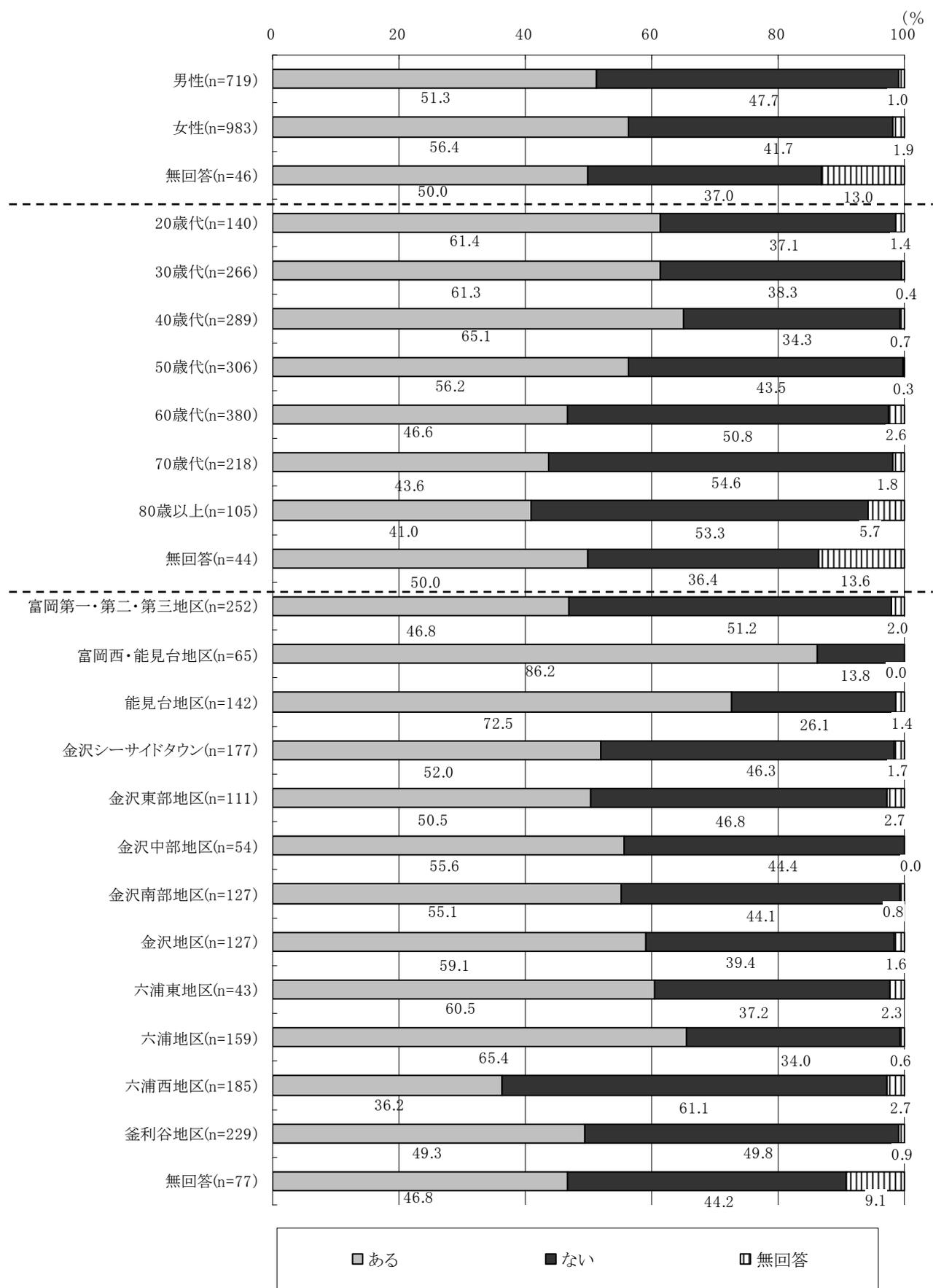


問 29 あなたのお住まいには、住宅用火災警報器など、火災を自動的に感知する設備がありますか。

・「ある」は54.1%、「ない」が44.1%となっている。



- ・年齢別にみると、年代が高いほど設備は「ない」割合が高い傾向がある。
- ・地域別にみると、「ある」割合は六浦西地区が36.2%と低くなっている。



- ・問 28 と問 29 のクロスでは、住宅用火災警報器設置の義務化を「知っていた」層のほうが実際に火災警報器などの設備が「ある」(58.8%) 傾向であることがわかる。

